

農業大学校における就農に向けた校外研修の充実

農業総合センター農業大学校

本校の教育は、農業に関し幅広い視野と高度な経営能力を有し、農業振興に貢献する経営感覚に優れた農業者の養成を目標としており、27年度は、地域農業との連携を強化するため、全国道の駅連絡会との「道の駅」就労体験型実習の実施に関する基本協定と茨城町、JA 水戸との新規就農者の確保・育成に係る連携協定を締結し、これに基づく校外学習を実施しました。学生達は、地域振興の核となる直売所や、より身近な地域農業の生産、流通の現状を学ぶなど、就農に向け貴重な経験を積むことができました。

道の駅「かつら」で就業体験

（「道の駅」就労体験型実習の実施に関する基本協定 平成 27 年 3 月 30 日に締結）

学生 2 名は、夏休み期間を活用し、8 月 11 日～16 日の間、城里町の道の駅「かつら」直売所に農産物を出荷販売する農家にホームステイしながら、農作業の実習や出荷調整を体験すると共に、道の駅直売所での接客や商品陳列などを体験し、直売農業の実際や、地域振興の拠点としての道の駅の機能を身をもって学ぶことができました。2 名は地域農業の核となる農業法人への就農を目指し、さらに幅広い知識と技術を身につけるべく、学生生活を送っています。



道の駅「かつら」で接客の実際を学ぶ

茨城町の先進農家で農業研修

（新規就農者の確保・育成に関する連携協定 平成 27 年 6 月 5 日に締結）

茨城町、JA 水戸との協定に基づき、農学科 2 年生 26 名が、10 月 8 日に町内の先進農家 2 戸において、農業研修を実施しました。研修を通じて農業経営者としての心構えや、生産へのこだわり、土作りの実際について学ぶことができました。また、JA 水戸野菜集出荷施設の視察も実施し、JA 水戸の営農支援活動や農産物の販売状況等について説明を受けました。この実習を契機に、町内農業法人への就農を志向する学生や、農家での農作業アルバイトに取り組む学生が現れました。

なお、この協定に基づき、町内に就農を希望する者には、町から新規就農に必要な農地や住居に関する情報提供を受けられることになっています。



茨城町役場での調印式



トマトの選別を学ぶ